

第1回 同志社ゼミ

ゼミ担当者 : 小畑 拓也, 谷口 真一
 指導院生 : 大西 祥代, 上田 祐一郎
 開催日 : 2007年4月19日

ゼミ内容: 伝統ある同志社大学に通いながらも、同志社の歴史や、創設者である新島襄についての知識が少ない内に卒業する学生が多い。本ゼミでは、同志社の歴史や College Song を通じて同志社の伝統を理解し、母校への愛着を持ち、同志社の卒業生としての誇りを持って社会で活躍できるようになることを目的とする。

1 同志社大学のはじまり

同志社大学の始まりは1875年11月29日に開校した同志社英学校である。英学校は英語を教える英語学校という意味ではなく、幅広く英学を教える学校、すなわち漢学以外は英語ですべての学科の授業をする一般教育(普通教育)の学校を指す。

発起人は新島襄と山本覚馬であり、「同志社」というネーミングは山本による、と伝えられている。最初の生徒はわずか男子8人で、教師は、校長である新島襄と、宣教師 J.D. デイヴィスの2人であった。

2 同志社徽章

正三角形を3つ寄せたマークは、アッシリア文字「ムツウ¹(国土を意味する)」を図案化したものである。知・徳・体の三位一体(完全な調和)を意味する記号であり、「国家の為に完全なる教育を行う」という校祖新島襄の精神を含んでいる。考案者の湯浅半月(ゆあさはんつき)は、本学が生んだ詩人であり古代オリエント学者である。制定された当時、半月は本学の神学教授であった。また、スクールカラーである紫と白は新島襄が学んだ米国アーモスト大学のスクールカラーと同色である。(Fig. 1)

制定年月 1893年(明治26年)10月
 デザイン 湯浅半月 半月

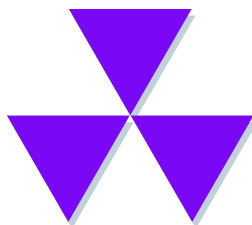


Fig. 1 同志社徽章

3 教育理念と教育目的

同志社大学は、「自由主義」「キリスト教主義」「国際主義」の3つの基本理念を掲げている。これは、新島襄が同志社を設立した際の精神に基づいている。教育の目的は、キリスト教を基本として人格を養い、単に学業や技術にすぐれているだけでなく、聖書にいう「地の塩」、
 「世の光」となる人物、すなわち、キリスト教的人生観、世界観を身に付けた主体性のある人間と、社会の各方面において、その能力に応じて奉仕する人間を育成することである。

4 新島襄

新島襄(Fig. 2)がなぜ同志社を設立したか、その理由は明治維新という時代と新島の個人史が鍵を握る。政治、社会、生活習慣全てが変革しようとする明治維新において、もしそこで教育制度が昔のままならば、旧人間が再生産され、旧体制が復活しかねない。そこで、政府の手に委ねない私立大学を設立し、自由主義の中で、ただ知識があるだけでなく自治自立できる「良心」ある新人間をつくるのが、「近代国家」としての日本を形成するために不可欠と考えた。これに新島襄の教育にかけた宿志が加わり、同志社は生まれた。なお、新島襄の生涯についての年表を Table1 に記す。



Fig. 2 校祖 新島 襄

¹アッシリアはメソポタミアの肥沃な三日月地帯にあり、古代においては最も文明の進んだ地域であった。

4.1 新島襄の生涯

1843年1月14日、新島襄は江戸神田の安中藩邸で生まれ、幼名を七五三太（しめた）と名付けられた。幼少より学問に優れ、蘭学、漢学、数学および航海学などを学ぶ。21歳の時、蘭学などを学ぶために脱藩し函館に向かう。同年6月14日、富士卯之吉の助けによりアメリカ商船ベルリン号に乗り込み、国禁を犯して脱国する。7月9日、上海に着いた船はそこで日本に引き返さなければならなかったが、ベルリン号のセヴォリー船長のはからいでワイルド・ローバー号 (Fig. 3) に乗り換えることに成功し、アメリカへ向かう。途中の香港で漢訳の新約聖書と出会い、脱国以来携えていた日本刀を売り、これを買入れる。



Fig. 3 ワイルド・ローバー号

新しい船のテーラー船長は七五三太を Joe と呼び、弟のように可愛がった。ここにジョー (Joe) という名前が誕生した。Joe とは、Joseph (ヨセフ) の縮まった名前である。ヨセフは、旧約聖書の創世記 30 章以下に記される、神の民イスラエル民族をエジプトから救った人物の名である。テーラー船長は、新島の固い志を知り、ヨセフのように、新島の夢が幾多の困難と苦難を越えて実現されることを願ってこのように命名したのであろう。後にヨセフという名の意味を知った新島は自らの使命を自覚してその名を受け止め、「襄」という当て字を用いた。

1865年、ワイルド・ローバー号はボストンに到着し、新島はテーラー船長の紹介で船主のハーディー夫妻の世話になる。そこでフィリップス高校に入学する。翌年、フィリップス高校在学中に洗礼を受けた。高校卒業後アーモスト大学で学び、キリスト教の宣教師として帰国することを考え、アンドーヴァー神学校でニューイングランド神学を学んだ。アーモスト大学とは1821年に創設されたアメリカ屈指の私立大学で、会衆派教会の信徒の子弟のためのリベラル・アーツ・カレッジとして創設された。9年間でフィリップス高校、アーモスト大学、アンドーヴァー神学校の3つの名門校をいずれも成績優秀で卒業した。アンドーヴァー神学校に在学中に岩倉全権使節団に会い、使節団の要請に応じ田中不二磨らとヨーロッパの教育制度を視察する。1874年ヴァーモント州ラットランドで開催中のアメリカンボードで演説し、日本でのキリスト教主義学校設立を訴え、約5000ドルの

寄付の申し出を得た。この年、31歳で帰国する。

帰国後、宣教師グリーン、J.D. デイヴィス、山本覚馬らの支持を受け京都にキリスト教と近代科学を教える学校を設立する。これが同志社英学校である。1880年、山本覚馬の妹、八重と結婚する。同年4月13日「自責の杖」事件が起こる。1888年、主要新聞雑誌に「同志社大学設立の旨意」を発表し協力を呼びかけ、大学設立に向け奔走する。しかし翌年の秋、前橋で発病し、大磯で療養生活を送ることになった。1890年1月23日、46歳で永眠する。死因は急性腹膜炎であった。

4.2 自責の杖

1880年4月13日朝の礼拝の席で新島は、「生徒の無断欠席という校則違反は彼らの罪でも幹事の責任でもない、校長である自分の落ち度であり不徳のいたす所である、よってその校長を罰する」と携えていた杖で左掌を数度にわたって痛打し、杖は折れた。これが「自責の杖」事件である。

この事件は、新島のひと月の伝道旅行中に起こった。それは、3ヶ月ほど先に入学していた学生と、後から入った学生とを同級にしよう、という学校のやり方に対して、先に入学していた組の者が、下級の者と同級になるのは嫌だと反発し、それをさらに上級生が煽り、無断授業放棄、学生同盟休校 (ストライキ) となったものである。帰ってきた新島は、この校則違反の責任をうやむやにする訳にはいかないと、生徒でも教師でもなく自らを罰したのである。この出来事は、新島襄のキリスト者、教育者としての姿、同志社教育のあり方、またその本質を最も象徴的に表すものとして、今も同志社ではこれを永く語り継いでいる。(Fig. 4)



Fig. 4 自責の杖

4.3 アーモスト大学

1821年創設のアメリカ屈指の私立の名門大学。(Fig. 5) 所在はマサチューセッツ州西部のアーモスト。会衆派教会の信徒の子弟のためのリベラル・アーツ・カレッジとして創設され、ピューリタン色が濃厚で、最初の50年間の卒業生のうち、約40%が宣教師を始め伝道者となった。新島襄の場合もそうした学風の中で牧師を目指す道がごく自然に開かれたと思われる。彼はここで3年間学び、1870年に「理学士」として卒業した。国の内外問わず学士を授与された最初の日本人と言われている。

Table1 新島襄の生涯

1843年1月14日	4人の娘が続いた後に嫡男として、安中藩の新島家に生まれる。父は民治、母はとみ。正月の七五三飾り（しめかざり）にちなんで「七五三太（しめた）」と名づけられた。祖父の弁治が男の子と聞いて「しめた！」と叫んだからという説もある。
1853年	黒船来航 。このころ、新島も海外の様子に強い関心を抱くようになる。
1856年	田島順輔の手解きで蘭学を学び始める。このほか、漢学、数学、航海術などについて学ぶ。優れた才能と強い勉学意欲を持つ新島は、封建制度の抑圧からの脱出を考え始める。
1864年	蘭学等を海外で学ぶために、脱藩して 函館 に行く。6月14日、福土卯之吉の斡旋によってアメリカ商船ベルリン号に乗り込み、国禁を犯して脱国。7月9日、上海に着いた船は、そこで日本に引き返さなければならなかったが、ベルリン号の親切なセヴォリー船長のはからいで ワイルド・ローバー号 に乗り換えることに成功。新しい船で七五三太は、テーラー船長から Joe と呼ばれ（これがのちの襄となる）、やがて船はボストンに入港する。途中の香港で漢訳の新約聖書と出会う。脱国を企て丸1年で、新島は着実に封建体制下の青年武士から近代的な1人の青年に脱皮を遂げていた。
1865年	ボストンではワイルドローバー号のテイラー船長の紹介で船主のハーディー夫妻の世話になる。それからの9年間でフィリップス高校、 アーモスト大学 (Fig. 5)、アンドーヴァー神学校の3つの名門校をいずれも成績優秀で卒業した。
1866年	アンドーヴァー神学校付属教会にて洗礼を受け、日本人初のキリスト新教信者となる。
1868年	明治維新
1871年	森有礼駐米少弁務使（行使）の斡旋で、日本政府の旅券と留学免許状が送付される。
1872年	アンドーヴァー神学校卒業前、新島はワシントンで岩倉全権使節団に会う。副使の木戸孝充らと親交を結び、使節団の要請にこたえて田中不二麿文部理事官らと共に、ヨーロッパ各国の教育制度を視察する。
1874年	ヴェーモント州ラットランドで開催中の アメリカンボード で演説し、日本でのキリスト教主義学校設立を訴えた。アピールは反響を呼び、その場で約5000ドルの寄付申し出を得た。このとき、一人の貧しい農夫が、帰りの汽車賃であったはずの2ドルを寄付した。この事実は襄の心を打ち、現在でも同志社において語られる美談の一つとなっている。同年、31歳になった新島は帰国する。
1875年	京都にキリスト教と近代科学を教える学校の設立を提案し、宣教師グリーンと J.D. デイヴィス 、京都府顧問の山本覚馬に支持を受ける。そこで、新島は山本所有の相国寺門前の旧薩摩藩邸跡地約5800坪を譲り受け、その地に、この年の11月29日 同志社英学校 を設立した。この「同志社」という名前は山本の発案によるものである。教員は新島とデイヴィス、生徒は8人というスタートだった。しかし、正課の授業で聖書は教えないという条件のもとで京都府に許されたものだった。
1880年	山本覚馬の妹、八重と結婚する。
1880年4月13日	朝礼の席で、生徒のストライキに対し自らの掌を鞭打つ「 自責の杖 」事件が起こる。
1888年11月7日	全国の主要新聞雑誌に「 同志社大学設立の旨意 」(5章参照)を発表して協力を呼びかけた。当時大学とよばれるものは、官立の東京大学1校のみであり、新島は、これに抗して、全国の賛同する「 民間人の手に拠（よ）って 」、つまり自発的結社によって私立大学を創ろうとしていた。「同志社」つまり“ 志を同じくする個人の約束による結社 ”という名前自体もこの理念を示している。福沢諭吉の慶應義塾も同様の結社で、当時はこのような試みが可能であった。
1890年1月23日	同志社大学設立半ば、46歳で永眠する。遺骸は若王子墓地に埋葬される。

カリキュラムで特徴的なのは、各学年で演説法と体育が必修となっており、知育、徳育、体育を調和的に発展させて、「よき市民」の育成が図られた。特に体育の分野は先駆的で、体育館設置と保健体育(生理学)の導入は全米の大学では最初であった。



Fig. 5 アーモスト大学

4.4 幅広い教育への関心

新島襄の帰国時の当面の夢はキリスト教主義の男子校の設立であった。しかし、帰国後に神戸などで女子教育の重要性を体験的に痛感していた J.D. デイヴィスら同僚の感化を受けて、女子教育に目覚めていった。もともと彼は欧米で女子教育の実際に触れてもいた。

居留地外、「内陸部」の京都で女学校を開校するためには、男子校同様に新島が校長となったり女性宣教師を雇用する必要があった。そのために官庁と折衝する仕事を彼は一身に背負った。要するに新島抜きでは正規のキリスト教主義女学校は始められなかったのである。新島が女学校(現在の同志社女子大学)を設立したのは、英学校の開校からわずか2年後の1877年のこと。レベルの高い女学生は、英学校に出向いて男子と教育を受けた。これが共学のはしりである。新島や同志社女学校や京都看護学校の校長を兼務した点で女子教育の先駆者であった。(Fig. 6)



Fig. 6 同志社女学生の生徒たち

また新島襄は学校創立を志した当初から、総合大学、すなわち文学(神学)、法学(経済学)、医学などの諸学部を擁する総合大学造りを目指した。医学部構想は1887年に本格的に具現化され始める。同年、まず同志社病院と京都看護学校が実現。(Fig. 7) 場所は京都御所の西隣、

今のKBS京都の場所にあたる。特に看護学校は日本で2番目という先駆的なものであった。

アメリカンボードは病院には医療宣教師の J.C. ベリーを、看護学校には看護宣教師の L. リチャーズ(アメリカ最初の有資格看護婦)をそれぞれ院長、「校長」として京都に送り込んだ。しかし、新島の死後、使節団との関係がこじれ、資金的な支援が望めなくなったので、1897年に病院は閉鎖となった。看護学校はキリスト者で医師の佐伯理一郎に管理が委ねられたあと、払い下げられた。以後、同志社は医学教育から撤退した。



Fig. 7 同志社病院と京都看護学校

4.5 大磯で永眠

1888年、新島は大学設立資金の募金のために3度目の渡米を計画したが、医師からドクター・ストップがかかり実現しなかった。新島の健康はそこまで損なわれていた。1889年の秋、新島は最後の力を振り絞るかのように病を押して関東に出掛け、募金運動を展開しようとしたが、ついに前橋で発病し、大磯で療養生活を送らざるをえなくなった。

翌年1月21日に、病状がいつそう悪化し、教え子の徳富蘇峰に遺言を書き取らせた。その2日後の1月23日に新島は息を引き取った。死因は急性腹膜炎で、46歳11ヶ月の短い生涯を終えたのであった。彼は念願の同志社大学の設立を見ることなく亡くなったのである。

4.6 大学の誕生

新島の死後、山本覚馬が臨時総長に一時ついたあと、第1回卒業生の熊本バンド²の人たちが、新島の後を継いで次々と同志社社長(今の総長)に就任し、学園の経営に尽力していた。

しかし、キリスト教にとって反動期に遭遇したために学生数は次第に減少しており、そのため仙台の同志社分校の廃止がされた。また、使節団との間に財産問題・教育主義問題をめぐってトラブルが生じ、資金援助が断たれ、同志社に在職する宣教師が全員、辞職するという事態に陥り、これにより同志社病院や京都看護婦学校などが廃止された。

²キリスト教信者を生み出したとして熊本洋学校が廃校にされた際、同志社に移ってきた学生らのこと。

結局、同志社大学(神学部, 政治経済部, 英文科)が誕生したのは、新島の死から22年を経た1912年のことであった。ただしこれは専門学校令による大学という限定されたものであった。同年、女学校も専門学部(英文科, 家政科)を設置することができ、ようやく高等教育課程をもつことができたのである。

同志社大学が大学令による正規の大学として認可されるのは、さらに遅く、1920年のことであった。同志社女子大学(学芸学部)の場合は、戦後のことで1949年の設立となった。なお、同志社英学校設立以降の同志社の年表をTable2に記す。

5 「同志社大学設立の旨意」

以下は、1888年(明治21年)、新島襄が大学設立の宿志を全国の人民有志に向かって訴えた文章の内容を要約したものである。同志社大学はこの創立の意思にもとづいて建てられたその名の通り、自発的結社という新しい組織原理によって作られた大学であり、誇るべき出発点をもっている。旨意の一部は、毎年入学式で朗読されている。

- 国民の安危と教育

将来の安危禍福は、ただ国民教化の力によるものである。

- 良心を手腕に

同志社設立の目的は、ただ技術や才能ある人物を育成するにとどまらず、徳性を磨き、品性を高め、精神を正しく強めるように努め、いわゆる「良心を手腕に運用する人物」を世に送り出すことである。

- キリスト教的徳育

ただ神を信じ、真理を愛し、他者に対する思いやりの情に厚いキリスト教の道徳によらなければならないと信じ、キリスト教主義を徳育の基本とした。

- 私立経営及び自治的精神

私立大学が持つ長所は、学生が自己独自の気質を發揮し、自治自立の人民を養成するという点である。

- 一国の良心

一国を維持するのは、決して二、三の英雄の力ではない。一国を形成する教育、知識、品性ある人民の力によらなければならない。私たちはこの「一国の良心」ともいうべき人々を養成することを目的としている。

- 百年の大計

大学生設立の計画は、一国百年の大計画である。

[要旨]: キリスト教主義なればこそ、良心を手腕に用いて自分らしく生きていける人物が育つのであり、その下でこそ「文明」は進み「近代国家」としての日本も形成される。明治日本に今必要なのはそのような大学であり、**一国の良心とも言うべき人々を養成するために、人民の手に拠る同志社大学を設立した。**

6 同志社におけるキリスト教

同志社大学はキリスト教主義を基本理念の一つとして掲げ、自由と個々の人格を重んじ、国際社会に貢献する人を育むことを目的に創設された。新島襄は教育者(同志社校長)であると同時に、牧師(アメリカンボード³の宣教師)でもあり、キリスト教の伝道にも熱心に取り組んだ。同志社の開校は、京都におけるプロテスタント伝道の開始であったといえる。以下キリスト教関連の活動、建築物を紹介する。

- 全同志社メサイア演奏会

同志社では、クリスマスの恒例行事として全同志社規模でメサイア演奏会が行われる。長い伝統を持ち、同志社関係者だけでなく、一般の人々にも広く親しまれているイベントである。同志社交響楽団、グリークラブ、聖歌隊などが出演し、コンサートやハンドベルの演奏、キャンドルライトサービスなどが行われる。(Fig. 8)



Fig. 8 メサイア

- キリスト教文化センター

同志社大学は、教育研究機関としてキリスト教文化センターを設立した。同志社に学ぶ全ての人々と地域の方々のために、多彩な講座を公開している。また、学内外の様々な分野の人々を説教者・講師として招きお話をいただく、チャペル・アワーと呼ばれるプログラムが開催されている。(Fig. 9)

- 新島記念講堂(京田辺)

全同志社共用の礼拝堂として、募金により1989年9月に竣工した。女子大学校地内に建設されている。(Fig. 10)

³1810年に創立されたアメリカ最初の超教派的な外国伝道団体。



Fig. 9 チャペル・アワー



Fig. 10 新島記念講堂

● 礼拝堂 (今出川)

アメリカンボードの寄付を得て、1886年6月に竣工した。日本において、現存するプロテスタント派・煉瓦造の礼拝堂の中では、最古のものである。アメリカン・ゴシック様式の鉄板葺きの煉瓦造りで、国の重要文化財に指定されている。同志社卒業生であればここで結婚式等を行うことが可能である。(Fig. 11)



Fig. 11 礼拝堂

7 同志社の格言

- 「良心之全身ニ充滿シタル丈夫 (ますらお) ノ起リ来ラン事ヲ」

良心之全身ニ充滿シタル丈夫⁴＝「良心を手腕に運用する人」、つまり、良心に満ち溢れた人物が、同志社から輩出されることを望んだ言葉である。これは新島が東京から同志社普通学校5年生の横田安止に宛てて書いた手紙の一節である。現在、キャンパスの正門を入ったところにこの言葉が刻まれた「良心碑」がある。(Fig. 12, Fig. 13)



Fig. 12 今出川校地の良心碑



Fig. 13 京田辺校地の良心碑

- 「同志社においてはイ周儻不羈 (てきとうふき)⁵なる書生を圧束しないこと」

新島襄の遺言で、イ周儻不羈＝自分の考えをしつかり持って安易に人に左右されない人を、型にはめずに大きく育てたいとの願いが込められている。これが同志社の「自由主義」の源泉となっている。

⁴立派な男, 勇気ある強い男.

⁵”てき”の漢字は正しくは、へんがにんべん, つくりが周となる.

- “My Life is My Message” (私の生涯が私の遺言です)

新島と共に英学校開校当時から同志社を支えた J.D. デイヴィスの言葉で、現在、デイヴィス記念館のロビーに刻まれている。(Fig. 14)



Fig. 14 デイヴィス記念館

- “SEEK THROUGH YOUR VOCATION TO SERVE GOD AND HUMANITY”

(天職による神と人類への献身)

これは理化学館の正面玄関上に刻まれている J.N. ハリスの言葉である。(Fig. 15)



Fig. 15 ハリス理化学館

- “Learn To Live and Live To Learn” (生きるために学び、学ぶために生きよ)

半世紀にわたって同志社の教壇に立ち、大学令による同志社大学の第二代学長をつとめた D.W. ラーネットの愛誦句である。現在、ラーネット記念図書館の正面玄関上に刻まれている。(Fig. 16)



Fig. 16 ラーネット記念図書館

- 「一粒の麦、地に落ちて死なずば、唯一つにて在らん、もし死なば、多くの果を結ぶべし」(「ヨハネ

伝」第 12 章 24 節)

これは、新島の追悼式で小崎弘道が引用した言葉である。また、J.D. デイヴィスは新島伝の中で、「新島はなお生きている。肉体は滅んでも、彼はなおもこの国民の全部に語りかけられている。」と記している。

Table2 英学校設立以降の同志社の年表

年月日	事柄
1875 (明治 8) 年 11 月 29 日	官許同志社英学校開校。京都府知事榎村正直，府顧問山本覚馬の賛同を得，開校。上京第 22 区寺町通丸太町上ル松蔭町 18 番地高松保実邸の半分を借りた校舎。教員は新島襄と J.D. デイヴィス。生徒 8 人であった。新島襄初代社長に就任。
1876 (明治 8) 年 4 月	D.W. ラーネッド着任。
9 月	今出川校地へ移る。相国寺門前（薩摩藩邸跡）に校舎 2 棟と食堂 1 棟を建て寺町から移る。この時熊本洋学校に学んだ生徒（熊本バンド）が入学した。
10 月	京都御苑内柳原邸に女子塾開設。
1877 (明治 10) 年 4 月	同志社分校女紅場を開設。
9 月	女紅場を同志社女学校と改称。
1879 (明治 12) 年 6 月	英学校第 1 回卒業生（余科 15 人）を出す。
1880 (明治 13) 年 4 月 13 日	朝礼の際，新島は自分の掌を杖で打ち，自らを罰して生徒に訓す。「自責打掌」事件。
1883 (明治 16) 年 2 月	「同志社社則」を制定。
1884 (明治 17) 年 5 月	「明治専門学校設立旨趣」および「同志社英学校設立始末」を印刷頒布。
9 月	同志社最初の煉瓦建築，彰栄館竣工。（国の重要文化財）
1886 (明治 19) 年 6 月	礼拝堂（チャペル）竣工。（国の重要文化財）
11 月	書籍館（現，有終館）開館。（国の重要文化財）
1888 (明治 21) 年 11 月	「同志社大学設立の旨意」を全国の主要な雑誌・新聞に発表。
1890 (明治 23) 年 1 月 23 日	新島襄永眠。募金運動中に前橋で倒れ，静養先の神奈川県大磯の旅館百足屋で，徳富蘇峰，小崎弘道らに 10 か条の遺言を託して永眠（47 歳）。1 月 27 日チャペル前で葬儀を営み，東山若王子山頂に葬る。墓碑銘は勝海舟筆。
7 月	アメリカの実業家 J.N. ハリスの 10 万ドルの寄付によるハリス理化学館竣工。（国の重要文化財）
9 月	ハリス理化学校開校。工学部の淵源とってよく，ハリス理化学館は，その中心施設であった。
1891 (明治 24) 年 9 月	政法学校開校。政治科と理財科を置き，法学部と経済学部の前身とみなされている。
1893 (明治 26) 年 10 月	同志社徽章（校章）を制定。
1894 (明治 27) 年 11 月	クラーク神学館（現，クラーク記念館）の開館式举行。（国の重要文化財）
1901 (明治 34) 年	同志社女学校専門学部設置。
1904 (明治 37) 年 4 月	専門学校開校。専門学校令による神学校と専門学校を開校し，政法学校，理化学校などは廃止もしくは統合された。
1909 (明治 42) 年	同志社カレッジソング（W.M. ヴォーリズ作詞）を制定。
1912 (明治 45) 年 4 月	専門学校令による同志社大学（予科・神学部・政治経済部・英文科）ならびに女学校専門学部開校。
1918 (大正 7) 年	社長を総長と改称し，原田助が就任。
1919 (大正 8) 年 1 月	D.W. ラーネッド第 2 代学長に就任。
1920 (大正 9) 年 4 月	大学令による同志社大学の開校。文学部（神学科，英文学科，1927 年に哲学科を増設），法学部（政治学科，経済学科，1923 年に法律学科を増設），大学院および予科を設けた。

次ページへ続く

年月日	事柄
1922 (大正 11) 年 4 月	専門学校の再編成。専門学校令による大学を専門学校として再編成し、神学部、英語師範部、高等商業部（商学部の前身）、政治経済部の 4 部を置いた。
1929 (昭和 4) 年 4 月	岩倉に高等商業部を移す。
1930 (昭和 5) 年 6 月	女学校専門学部を女子専門学校と改称。
12 月	専門学校高等商業部を高等商業学校と改称。
1940 (昭和 15) 年 11 月	「良心碑」を有終館前の中庭に建立。
1943 (昭和 18) 年 4 月	「同志社中学」を「同志社中学校」（中学校令による）とする。
1944 (昭和 19) 年 4 月	工業専門学校（電気通信科・機械科・化学工業科）開校。
10 月	同志社大学研究所（現・人文科学研究所）設置。大学は法文学部（神・厚生・法経の 3 学科）1 学部に縮小された。高等商業学校を経済専門学校と改称。
1946 (昭和 21) 年 4 月	学部の復旧。大学は元の 2 学部に復旧し（厚生学科は文学部社会学科になる）、翌年神学科は学部になった。
1947 (昭和 22) 年 4 月	新学制により新制同志社中学校、女子中学校が発足する。
1948 (昭和 23) 年 4 月	新制大学開校。神・文・法・経済学部が開設。同志社高等学校、女子高等学校、商業高等学校（定時制）開設。
1949 (昭和 24) 年 4 月	商学部と工学部を新設し、大学は 6 学部となる。女子大学（学芸学部）開校。
1950 (昭和 25) 年 4 月	新制大学 大学院修士課程設置。神・文・法・経済・商各研究科を開設した。短期大学部（夜間 2 年制）設置（英語・商・経・工各学科）。
1951 (昭和 26) 年 3 月	大学教養学部（一般教育課程）を廃し、学部別縦割りとする。
7 月	同志社香里中学校、同高等学校を開設。
1952 (昭和 27) 年	同志社各専門学校を廃止。
1953 (昭和 28) 年 4 月	大学院博士課程設置。
1954 (昭和 29) 年	短期大学部発展的に解消、2 部（4 年制）を設置。（文・法・経済・商・工各学部）
1955 (昭和 30) 年 4 月	工学研究科修士課程開設。
1957 (昭和 32) 年 3 月	同志社大学研究所を「同志社大学人文科学研究所」と改称。
1958 (昭和 33) 年 3 月	アメリカ研究所設置。
1959 (昭和 34) 年 4 月	理工学研究所設置。
1963 (昭和 38) 年	同志社社史史料編集所設置。
1965 (昭和 40) 年 11 月	大学会館開館。
1973 (昭和 48) 年 12 月	大学新図書館竣工。
1974 (昭和 49) 年 11 月	新町別館（音楽演劇総合練習場）開館。
1975 (昭和 50) 年 4 月	創立 100 周年記念事業を行う。
9 月	計算機センター発足。
1976 (昭和 51) 年 10 月	光塩館（法・経研究室）竣工。
1980 (昭和 55) 年 4 月	国際高等学校開校。
1982 (昭和 57) 年 12 月	徳照館（文学部研究室・事務室）竣工。
1985 (昭和 60) 年 1 月	田辺校地の起工式をおこなって建設に着手。
1986 (昭和 61) 年 4 月	田辺校地開校。全学部第 1 部 1・2 年次生の授業が開始。文学研究科社会福祉学専攻博士課程（後期課程）、国文学専攻博士課程（後期課程）開設。
5 月	女子大学短期大学部開校。
1988 (昭和 63) 年 4 月	文学研究科美学および芸術学専攻修士課程開設。国際中学校開校。
9 月	新島記念講堂（礼拝堂）竣工。
1990 (平成 2) 年	新島襄永眠 100 周年行事を行う。

次ページへ続く

年月日	事柄
1991（平成3）年 4月 1993（平成5）年	アメリカ研究科修士課程開設。学術情報センター発足。 新島襄生誕150年記念行事を行う。
4月	言語文化教育研究センター設置。宗教センターをキリスト教文化センターに改称。文学研究科教育学専攻修士課程，同社会学専攻修士課程，およびアメリカ研究科アメリカ研究専攻博士課程（後期課程）開設。
1994（平成6）年 3月	田辺校地理化学館ほか11棟（工学部棟）および紫苑館，恵道館竣工。
4月	工学部知識工学科，機能分子工学科，物質化学工学科を新設。また機械工学科を機械システム工学科に，機械工学第二学科をエネルギー機械工学科に学科名変更。工学部および工学研究科，理工学研究所を田辺校地に統合移転。
1995（平成7）年 4月	総合政策科学研究科修士課程開設。
1996（平成8）年 4月	商学研究科「専門職コース」内に「ベンチャービジネス・プログラム」を開設。経済学研究科応用経済学専攻に「高度専門職コース」を開設。文学研究科美学および芸術学専攻に博士課程（後期課程）を開設。
1997（平成9）年 4月	文学研究科社会学専攻と総合政策科学研究科総合政策学専攻に博士課程（後期課程）を開設。昼夜開講制を実施。
1998（平成10）年 4月	文学研究科新聞学専攻に博士課程（後期課程）を開設。工学研究科に知識工学専攻修士課程，および数理環境科学専攻修士課程を開設。セメスター制度を実施。
1999（平成11）年 4月	留学生別科を設置。
2000（平成12）年 4月	工学研究科知識工学専攻に博士課程（後期課程）を開設。
2001（平成13）年 3月	京田辺キャンパスに知能情報センター（香知館）を開設。
4月	文学研究科教育学専攻に博士課程（後期課程）を開設。
2003（平成15）年 9月	京田辺キャンパスにローム記念館を開設。
2004（平成16）年 4月	専門職大学院である司法研究科，ビジネス研究科を開設。政策学部政策学科開設。寒梅館（新学生会館）竣工。新町校地に溪水館竣工。京田辺校地に光喜館竣工。
2005（平成17）年 4月	文化情報学部，社会学部を開設
12月	木津町に「同志社大学 学研都市キャンパス」建設に着手。
2006（平成18）年 4月	同志社小学校開校。知識工学科をインテリジェント情報工学科へ改名。
終わり	

8 同志社系列校

8.1 総合学園としての同志社

同志社は、1875(明治8)年、新島襄によって創立された我が国有数のキリスト教主義の学園である。創立当時の生徒数はわずか8名だったが、いまは同志社大学、同志社女子大学のほか高等学校、中学校および幼稚園を含む大きい総合学園となり、学生生徒の数は3万5千名、専任教職員は1500名を超えている。また25万名をこえる卒業生は現在、経済・政治・宗教・教育・社会事業など多彩な方面にわたって社会のために活動している。

- 同志社女子大学 (今出川, 京田辺)
中学校・高等学校 (今出川)

1876(明治9)年に同志社女子大学の前身である女子塾が京都御苑内のデイヴィス邸にて開設された。この塾は京都におけるキリスト教主義女子教育の先駆けとなった。「他者を思いやる心と自立の精神を身につけ、国際社会で活躍できる女性」の育成を目指している。

- 同志社中学校 (今出川)・高等学校 (岩倉)

特色ある一貫教育を通して、幅広くさまざまな科目を学び確かな基礎学力を養うと共に、グループ学習・発表・討論などの参加型学習を通して個性を伸ばし、思考力・創造性を持った人間を育てる。このため、中学校は2010年に岩倉へ移転する予定であり、これによって本当の意味での6年間の一貫教育を目指している。

- 同志社香里中学校・高等学校 (香里園)

1951(昭和26)年に誕生した同志社香里中学校・高等学校は、「大阪の地にも学校を」と願う新島襄の意志を実現した学舎で、以後、同志社学園の中等教育機関として重要な役割を担っている。

- 同志社国際中学校・高等学校 (京田辺)

同志社の精神・伝統を受け継ぎつつ、国際化社会の要求にこたえて関西初、当時は唯一の帰国子女受け入れの高等学校として、1980年に高等学校、1988年に中学校が開校した。

- 新島学園中学校・高等学校・短期大学 (群馬)

1947年、新島襄のキリスト教精神による人格教育の理想に基づき設立された。創立時より掲げる「教育の5原則」により、自由で敬虔な人格、国際的教養や民主的な社会人としての良識をもち、神と人とに奉仕する人材を育成している。

- 同志社幼稚園 (今出川)

1897年6月(明治30年)、アメリカの宣教師 Miss M.F.Denton が今出川に幼児をあつめて幼稚園を開設した。創立後30年間はアメリカンボードというアメリカの宣教師派遣組織によって経営が維持され、1935年から10年あまり同志社同窓会が経営を引き継いだ。1947年に学校法人同志社幼稚園となり現在に至る。

- 同志社小学校 (岩倉)

同志社中学校と同一校地に設置することで、同志社一貫教育域を形成し、キリスト教主義教育による徳育を着実にを行うことにより、良心を手腕に運用する同志社の核となるべき児童・生徒の養成を目指す。なお、詳細は8.2節に記す。

8.2 同志社小学校

8.2.1 背景

同志社には多くの系列校が存在しているが、唯一小学校のみ存在しておらず、校祖新島襄が熱望していた幼稚園から大学まで一貫した総合学園としての教育が実現していなかった。

21世紀に入り、教育界をはじめとする様々な局面において日本は混迷の状況を迎えている。このような時代に、本学に速やかに小学校を設置し、創立者新島襄が求めたキリスト教主義を徳育の基本とする幼稚園から大学に至る総合学園を完成することは、同志社に求められる社会的要請であるとし、校祖の遺志も受けて同志社小学校の設立に至り、2006年4月に開校した。(Fig. 17)

同志社教育を体現する人材、すなわちキリスト教主義に基づいた自治・自立の同志社精神を継承した人材を輩出するために、同志社小学校に入学し同志社諸中学校、同志社諸高等学校を経て同志社大学へ進学した生徒が、大学から同志社大学に入学した学生に同志社精神を伝える核となっていくことが期待されている。

8.2.2 教育理念・方針

同志社の教育理念であるキリスト教主義、自由主義、国際主義を当然ながら小学校教育においても基本理念として教育の最も根幹に置いている。これらの理念に基づいて、「豊かな感受性、創造性を育むこと」、「考え、伝えるちからを育むこと」、「自分たちをとりまく自然的、社会的・文化的環境についての理解を育むこと」を同志社小学校の教育における3つの目標として定めている。また、これらを通じて、広い視野から現状分析と将来展望を持ち、自らの良心に従って行動することができる人物の育成を目指している。(Fig. 18)



Fig. 17 同志社小学校



Fig. 19 同志社小学校の校章

同志社の基本理念と小学校が目指す子ども像

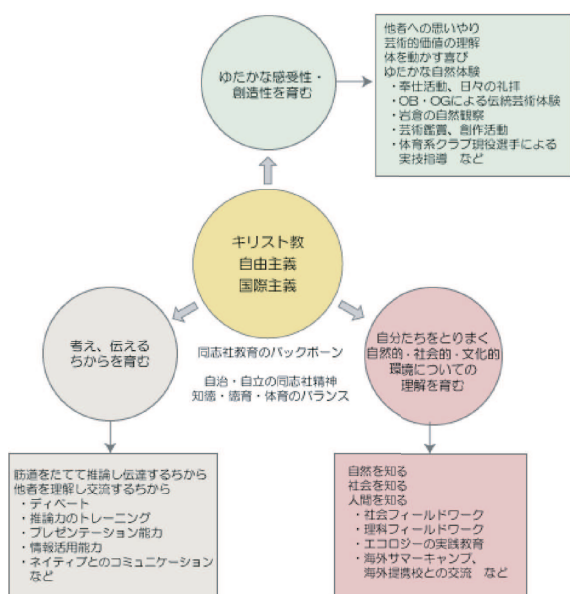


Fig. 18 同志社小学校の基本理念

8.2.3 教育活動

現在、競争的な社会環境の中で、子どもたちの心を豊かにする教育が求められている。そこで、「礼拝」と「宗教の時間」を教育の基盤として設けることによりキリスト教主義教育を充実させ、豊かで確かな人間性を形成し、将来、良心を手腕に活躍できる人物の育成を目指している。また、国際主義教育の観点から、毎日の英語学習やネイティブ教員による授業など、大胆な英語教育を実現することで、国際社会に生きる子どもたちの学びの出発点になっている。また、ことばの時間という読書の時間を設けることによって、母国語、外国語を問わず「ことば」を運用することの重要性を強調しようとしている。そして、これらを基盤とし、日本の伝統文化への

出合いやOBネットワークを利用した同志社タイムやクラブ活動、体験や失敗から本質へのふれあいを学ぶことができるようになっている。各学年で取り組むチャレンジウィークや同志社びわこリトリートセンターでの宿泊学習、助け合いや支え合いの大切さを学ぶための上級生と下級生での縦割りグループ作り、同志社精神を継承するためのアーモストへの修学旅行などによって、自然や社会や文化についてのさまざまな生きた知識の習得を可能にしようとしている。なお、同志社小学校の校章は、Fig. 1 とは別にデザインされている。(Fig. 19)

9 知識工学科からインテリジェント情報工学科へ

1994年に新設された知識工学科は、2006年にインテリジェント情報工学科へと名前を変更した。(Fig. 20)

9.1 背景

この変更の背景には、主に以下の2つの要因が挙げられる。

1つ目の要因は、大学外の者が、学科名を見ただけでは学科の研究分野がわかりにくいということである。これは、知識工学科設立以来13年間の大きな問題であった。例えば、受験生や就職活動などの場において、どのような勉強を行っているのかが伝わりにくかった。そのため、学科名の変更を考える必要があった。

2つ目の要因は、2001年に新設された情報システムデザイン学科の存在にある。この学科名に「情報」という言葉が入っているため、情報の分野を扱っているのは情報システムデザイン学科であり知識工学科ではないといった誤解が生じた。そこで、双方の学科のバランスを取るため、双方の学科名に「情報」の2文字を含むことにした結果、三木光範教授の提案により、インテリジェント情報工学科の案が出された。

9.2 インテリジェント情報工学科

コンピュータ技術の将来の発達を考え、情報革命の最前線で人間と環境に優しい、インテリジェントなシステムを想像、企画、立案、設計、そして開発できる視野の広い、元気なエンジニアを育てることを目標としている。この目標のもと、人間と環境にやさしいインテリジェントなコンピュータの実現をめざし、ユビキタス・並列化・インテリジェント化などの研究を進めており、その高度な情報処理技術を、社会に具体化できる技術を育成する。



10 工学部から理工学部へ

10.1 工学部の歴史

はやくから科学の可能性に注目し、欧米に負けない科学技術教育を目指した同志社の創立者・新島襄の考えの下、1890（明治23）年7月、今出川キャンパスにハリス理化学館が設立され、同志社の科学技術教育が始まった。資金難のため一度その教育は中止されたが、1949（昭和24）年、新島襄の想いは新制大学の工学部として再スタートした。1994（平成6）年、京田辺キャンパスへの移転と共に、学科の新設と再編がなされ、知識工学科、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、エネルギー機械工学科、機能分子工学科および物質科学工学科の7学科編成となった。1998（平成10）年には、大学院に新たに知識工学専攻（修士課程）、数理環境科学専攻（修士課程）を加え、2000（平成12）年には知識工学専攻に博士課程を増設した。また、2001（平成13）年には、科学技術の推進を目的とする知能情報センターを開設した。2004（平成16）年には、情報システムデザイン学科、環境システム学科を増設した。「科学技術は人間のためにある」と考える工学部のポリシーおよび新島襄の精神は約110年という長い歴史の中で再編を繰り返し、今日まで受け継がれてきた。

10.2 改組の背景

2008（平成20）年、工学部から理工学部へ改組する背景には、工学と理学の境界がなくなってきたことが挙げられる。これまで工学部では理工系教育を担ってきたが、今までの教育の実績をもとに、両者を融合させて新しい展開を行い、将来の社会が求める多様な理工系人材を輩出していくという使命を明確にするため、理工学部の再編に至った。

10.3 理工学部

理工学部では目先の先端技術を後追いつけるのではなく、どんな技術革新にも対応できる理工学の基礎を徹底的に習得し、社会から高く評価される「人間のための科学技術」を身につけた未来社会が求める多様な理工系人材を育てることを目標としている。そのため、本改組では、機能分子工学科を機能分子・生命化学科とし、物質化学工学科を化学システム創成工学科とする。そして、数理システム学科を新設する。また、現行の機能分子工学科に続き、環境システム学科、数理システム学科においても理学学士を授与する。

10.3.1 機能分子・生命化学科

ナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどの技術革新には、化学の知識を集結して得られる機能性物質が必要不可欠である。そのため本学科では、全ての産業の基礎となる機能性物質の化学と生命現象の化学を二本の柱として学習し、人類の夢を実現させる新しい機能性物質

Fig. 20 学部・学科の組織図

の探索や開発ができるような人材を育成することを目標としている。この目標のもと、多様な領域を研究対象とし、既成概念に囚われない柔軟な視点から先端技術開発に対応できる研究資質を習得する。

10.3.2 化学システム創成工学科

近年、地球環境問題などのより大規模で複雑な課題に直面しているなか、従来の大量生産を行う社会から持続性の高い生産が行える社会を形成するための基盤技術の開発が求められている。そのため本学科では、化学および化学工学に基づくシステムの思考を習得させることにより、時代に対応した新しい化学プロセスへのアプローチを行えるような人材を育成する。

10.3.3 数理システム学科

現在、純粋に数学の理論として研究されていた事が様々な分野で重要な役割を果たすことがわかってきている。そのため本学科では、「代数学」、「幾何学」、「解析学」など数学の基礎を学ぶ。その上で、統計学や数理ファイナンス、情報処理やプログラミング、応用数学などの応用分野を習得し、数理科学の研究者や数理科学を身につけ社会で活躍するような人材を育成する。

11 新学部の開設

2008年4月に同志社大学京田辺キャンパスにスポーツ健康科学部、および生命医科学部が開設される。これにより京田辺キャンパスは「身体・生命、先端技術、情報科学を中心とする高度な複合研究拠点」となる。この新学部の組織図をFig. 21に示す。

11.1 背景

同志社の創設者である新島襄は医学医療の分野で世に役立つ人材を輩出したいと強く思っていたが、現在に至るまでその遺志は達成されていないままであった。しかし、以下に述べる3つの要因が新学部開設の実現に至った。

- 本学が2003年に京都府立医科大学との学術交流を始めた
- 「医工学研究センター」・「感情・ストレス・健康研究センター」・「こころの生涯発達研究センター」が文部科学省学術フロンティア推進事業に選定された
- 本学がキヤノン株式会社からキヤノンエコロジー研究所跡地を購入し、同志社大学・学研都市キャンパスとして医療工学を用いた新たな学術フロンティアを開拓していこうとしている

11.2 スポーツ健康科学部

本学部では、現代人が抱える「心とからだの問題」の解決に向けた方向性やプランを社会に提案・提言していくようなスポーツ・健康の新時代を担う人材の育成を目標としている。そのため本学科では、病気を予防し健康を維持・増進するための「健康科学」とスポーツ競技力の向上を目的とした「トレーニング科学」を理論と実践

の両面から総合的に体得することを目指す。その上で、専門的な教育・研究施設を設けるだけでなく、学内外の研究・医療機関との連携を強化し、その高度な医療技術を社会に具体化できる技術を育成する。

11.3 生命医科学部

本学部では、医学をさらに広い視野で捉え、様々な分野で活躍できる医療現場を支えるバイオメディカルエンジニアや医生命科学者の育成を目標としている。この目標のもと、高齢化社会の将来を考えて、基礎医学や医療に関する幅広い知識・技術・視野を習得し、現実的、実践的なケーススタディを通して総合的な能力を育成する。また、高度な医療技術を社会に具体化できる技術を育成するために専門的な教育・研究施設を設けるだけでなく、学内外の研究・医療機関との連携を強化する。なお同学部内には、「医工学科」、「医情報学科」、「医生命システム学科」を設置する。

11.3.1 医工学科

「機械工学」と「医学」に関わる融合領域を系統的に学ぶことで基礎的な知識や技術を習得する。その上で、「ヒト」が中心となるシステムの研究開発を行い、介護や労働に関わる付加を軽減することを目標としている。そのため本学科では、少子高齢化の進む日本において発生する介護問題や、産業界における労働力不足といった問題の解消ができるような技術を育成する。

11.3.2 医情報学科

「情報・電子工学」と「医学」に関わる融合領域を系統的に学ぶことで基礎的な知識や技術を習得する。その上で、脳内情報処理の解明や電子技術を駆使した生体情報計測、医用機器の研究開発を行い、脳科学、パソコン、エレクトロニクスを組み合わせたシステムの創造による社会貢献を目標としている。そのため本学科では、現在問題となっているエネルギー問題を解消できるような技術を育成する。

11.3.3 医生命システム学科

人体の構造と機能、病理と防衛機構、分子生物学、薬理学などの幅広い領域に加え、さらに基礎医学・生物学の分野を系統的に学ぶことで基礎的な知識や技術を習得する。その上で、ヒトが持つ適応機能を最大限に引き出す方法や技術の研究開発を行い、ヒトの生命システムの解明やヒトの病気を予防することを目標としている。そのため本学科では、少子高齢化の進む日本において寿命の更なる向上や不治の病をなくす技術を育成する。

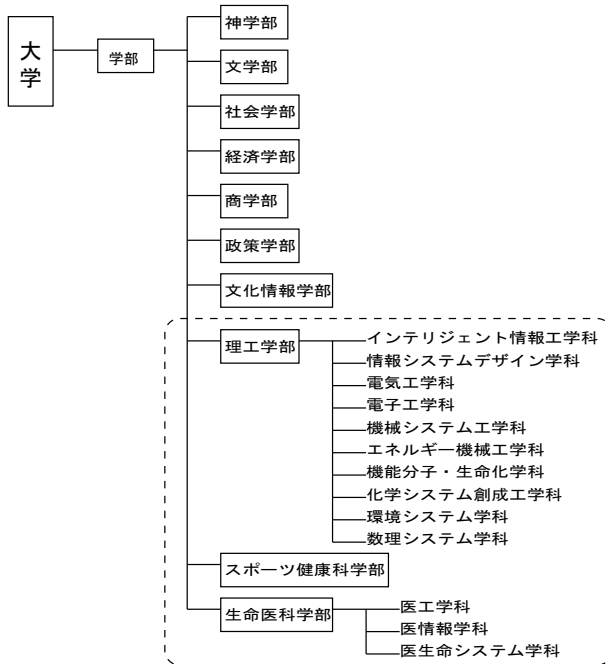


Fig. 21 新学部・学科の組織図

12 新館

2008年度から新設される生命医科学部の施設が新たに建設される。

12.1 生命医科学部教育研究棟 (仮)

新設される生命医科学部は、最先端の人的・知的資源を有する「身体・生命、先端技術、情報を中心とする高度の複合研究拠点」である京田辺キャンパスで、次世代の医療・健康の現場を担うことが期待されている。この生命医科学部のための新たな設備として、研究棟が建設されることになった。(Fig. 22)



Fig. 22 生命医科学部教育研究棟 (仮) 完成予想図

13 学研都市キャンパス

2005年12月、同志社大学は、京都府相楽郡のキャンエコロジー研究所跡地をキャンソン株式会社から購入し、新たに「同志社大学 学研都市キャンパス」と命名して、医工連携を含む新たな理工系研究施設として活用することとなっている。

13.1 背景

創立者である新島襄は、医学医療の分野で世に役立つ人材を輩出したいとの思いを強く抱いていた。京都看病婦学校と同志社病院が1887(明治20)年に開業したが、諸般の事情で1906(明治39)年に廃校となり、現在に至るまでその遺志は達成されていないままであった。

本学では、2003年に京都府立医科大学との学術交流を始め、寄付教育研究プロジェクトとして、「バイオマーカー研究センター」「再生医療研究センター」「アンチエイジングリサーチセンター」、さらに文部科学省学術フロンティア推進事業に選定された「医工学研究センター」、「感情・ストレス・健康研究センター」「こころの生涯発達研究センター」などの生命科学・医学分野への関わりを深めてきた。

また教育領域においても、工学部環境システム学科の生命環境分野では医療工学的な側面から人間環境を考える人間環境科学、さらに運動機能・生理学など、医学や医療に関するカリキュラムを設置してきた。

13.2 設置目的

「同志社大学 学研都市キャンパス」は、今後、京都府、関西文化学術研究都市推進機構との密接な研究連携や、近隣医療法人との共同研究、地域住民との交流をはかるなかで、「民官住」一体となった、21世紀に求められる新たな学術フロンティアを開拓していく拠点となることを目指している。

上記の医療と密接な関わりをもつ研究・教育事業を行うにあたって、医療機関との密接な協力関係が必要となり、2005年に医療法人社団医聖会と「交流に関する包括協定」及び学研都市病院と「交流に関する協定」を締結した。学研都市病院は本キャンパスに隣接していることもあり、今後は研究への協力や病院での学生の実習、医師による教育などの高度先端医療部門における「医工連携」をさらに進めていく予定で、さらなる共同研究や臨床実習などの相互協力が期待できるだろう。

13.3 本施設の利用計画

現在のところ、主に以下のような利用計画案が上げられている。しかし、どれもまだ具体的な利用案ではない。

- 教員の共同研究室
- 共同研究室
- セミナールーム
- メディカルシミュレーションセンター
- 動作解析センター
- 臨床に関する教育研究施設

14 データで見る同志社

- 学部学生数：22,976人（男14,435人/女8,541人）
- 大学院生：2,331人（男1,668人/女663人）
- 教員数：1,700人（専任教員617人/嘱託講師1,083人）
- 卒業生数：約244,000人
- キャンパス施設：校地面積約2,148,000
校舎面積約300,240
- 蔵書数（図書）：2,150,000冊
- 交流のある海外の大学数：22カ国60大学
（アメリカ18校、ヨーロッパ19校、アジア15校、
中南米3校、カナダ2校、オーストラリア3校）
- 外国人留学生数：385人
- 同志社大学生の海外留学学生数：161人
- クラブ・サークル数：約350
（公認団体約170/学生支援センター登録団体約180）

* 2006年5月時

15 同志社のOBを知る

15.1 政治家

- 土井 たか子【元社民党党首】（大学院・法学科）
- 末広 真季子【参院議員・タレント】（文学部）
- 井上 一成【衆議院議員・元郵政大臣】（経済学部）
- 田端 正広【衆議院議員・公明党】
- 玉置 一弥【衆議院議員・民主党】

15.1.1 企業

- 寺澤 正雄【日本HP元会長】（工学部）
- 井植 敏【三洋電機会長兼CEO】（工学部）
- 立石 義雄【オムロン代表取締役会長】
- 伊藤 謙介【京セラ代表取締役相談役】
- 木村 昌平【セコム取締役会長】（文学部）
- 魚谷 雅彦【日本コカ・コーラ取締役社長】（文学部）
- 小嶋 淳史【がんこ取締役会長】（経済学部）
- 藤井 良清【日本ハム代表取締役社長】
- 大宮 久【宝酒造取締役社長】
- 小瀬 日方【ハウス食品代表取締役社長】
- 知識 賢治【カネボウ化粧品代表取締役社長執行役員】
- 吉田 嘉明【DHC代表取締役社長】
- 矢田 廣吉【ファミリーマート代表取締役副社長】（法学部）
- 林 裕章【吉本興業元会長】（商学部）

- 木村 政雄【吉本興業元社長】（文学部・社会学科）
- 小池 聡行【オリコン元社長】（文学部・社会学科）
- 小田 信吾【ホリプロ代表取締役会長兼CEO】
- 今村 純二【北海道日本ハムファイターズ球団社長】
- 一澤 信三郎【一澤帆布元社長】（経済学部）
- 大津 健一【元日本キリスト教協議会総幹事】（神学部）

15.1.2 作家

- 今江 祥智【児童文学作家】
- 有栖川 有栖【推理作家・日本推理作家協会賞】
- 筒井 康隆【小説家】（文学部）
- 中村 うさぎ【小説家】

15.1.3 芸能

- 清水 圭【タレント】（商学部）
- 生瀬 勝久【俳優】（文学部）
- 二谷 英明【俳優】（文学部）
- 千 宗室【茶道裏千家今日庵15代家元】（法学部）
- 三上 真司【ゲームプロデューサー】（商学部）
- 中村 浩美【シンポジウム・コーディネーター】（法学部）
- レイザーラモンHG【お笑いタレント、本名：住谷正樹】（商学部）
- 浜村 淳【司会、映画解説者】（文学部）
- 山崎 和佳奈【声優】（工学部）
- 八木 早希【MBSアナウンサー】（文学部）

15.1.4 スポーツ界

- 平尾 誠二【ラグビー】（商学部）
- 大八木 淳史【ラグビー】（商学部）
- 林 敏之【ラグビー】（経済学部）
- 杉浦 正則【シドニー五輪野球日本代表】（商学部）
- 奥野 史子【シンクロ】（商学部）
- 土佐ノ海【力士、本名：山本 敏生】（商学部）
- 朝原 宣治【アトランタ五輪陸上100m準決勝進出】（商学部）
- 宮本 恒靖【サッカー、ザルツブルグDF、日本代表】（経済学部）
- 中西 哲生【元J-リーガー、現サッカー解説者】（経済学部）
- 小島 伸幸【元J-リーガー、現サッカー解説者】（商学部）
- 片岡 篤史【元プロ野球選手、現野球解説者】（商学部）
- 宮本 慎也【プロ野球、ヤクルトスワローズ】（商学部）
- 田尾 安志【元プロ野球選手、監督、現野球解説者】（文学部）

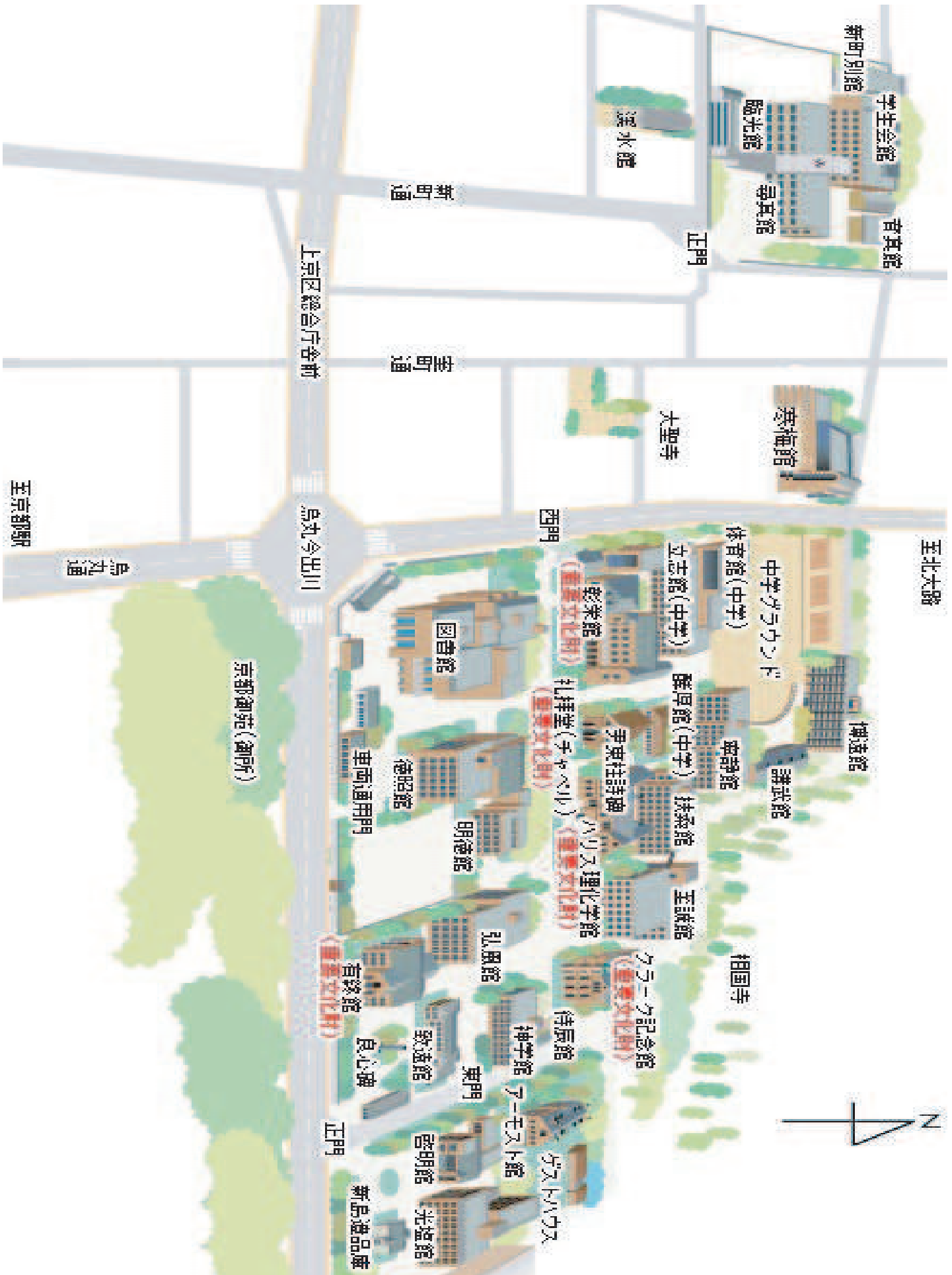


Fig. 23 今出川キャンパス

16 同志社 College Song

Doshisha College Song (Fig. 25 参照) は、ドイツの C.M.Wilhelm 作曲の「ラインの守り」に、アメリカの青年建築家 William M.Vories が 1908 年に英語の歌詞をつけたことにより誕生した。作詞の構想について「同志社の性格はその名のとおりに One Purpose です。そこに詩想の根拠を置いて書きつづけました。」と語っている。

Doshisha College Song

1.
One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim;
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!

和訳

1.
同志社よ、その名は一つの目的を意味する。
その学徒の精神的、肉体的に神のため、祖国のため、
生きんとする一つの崇高な目的を、
親愛なる母校よ、同志社の学徒は、
葡萄の枝のごとくつながりゆくことであろう。
たとえ世界くまなく、広くはるかに、我らさ迷うとも
汝の教訓は、我々の心に永遠に生き続けるであろう。

2.
We came to Doshisha to find
The broader culture of the mind;
We tarried here to learn anew
The value of a purpose true;
Dear Alma Mater,ours the part
To face the future staunch of heart,
Since thou hast taught us with high aim to stand
For God,for Doshisha,and Native Land!
3.
When war clouds bring their dark alarms,
Ten thousand patriots rush to arms,
But we would through long years of peace
Our Country 's name and fame increace.
Dear Alma Mater,sons of thine
Will hold their lives a trust divine
Steadfast in purpose we will ever stand
For God,for Doshisha,and Native Land!
4.
Still broader than our land of birth,
We 've learned the oneness of our Earth;
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind.
Dear Alma Mater,sons of thine
Would strive to live the life divine;
That we may with increasing years have stood
For God,for Doshisha,and Brotherhood!

Doshisha College Song

Words by W.M.Vories Music by Carl Wilhelm

One pur-ose. Doshi- sha. thy name Doth sig- ni- fy one
loft- y aim; To train thy sons in heart and hand To live God Native
Land. Dear Al- ma Ma-ter, sons of thine Shall
be as branch-es to the vine: Tho' through the world we wan-der
far and wide, Still in our
hearts thy pre-cepts shall a-bide!

One purpose, Doshisha, thy name
ワン パーパス ドーシーシャ ザイ ネーム
Doth signify one lofty aim;
ダース シーグニーファーイ ワン ローフティ エイム
To train thy sons in heart and hand
トゥー トゥレイン ザイ サンズ イン ハーテン ハーンド
To live for God and Native Land.
トゥ リー ファ ガッデンネーイーティーブ ラーンド
Dear Alma Mater, sons of thine
ディーア アールマ マター サーンズ オブ ザイン
Shall be as branches to the vine;
シャル ビー アズ ブランチーズ トゥー ザ ヴァーイン
Tho' through the world we wander far and wide,
ゾー スルー ザー ワーディ ワンダー ファー エーン ワー
イド
Still in our hearts thy precepts shall abide!
スティール イン ナー ハーツ ザイ プリーセップス シャー
ルアーバーイド

Fig. 25 Doshisha College Song